

広島県糖尿病療養指導士認定試験のための糖尿病療養指導自験例の記録

症例番号: 1・2・3・4・5

受付番号(8ケタ):

氏名:

※分かる範囲で数値や薬品名を記入してください、選択肢については○で囲んでください

医療職 | 看護師・准看護師・助産師・保健師・管理栄養士・栄養士・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士・歯科衛生士・作業療法士

1. 症例 ID : () 年齢:()歳 性別: 男・女
指導期間 : ()年()月()日～()年()月()日(入院・外来・在宅)

2. 療養指導開始時の患者の状態

(1)病型 : 1型・2型・妊娠糖尿病・その他()
 (2)罹病期間 : 約()年
 (3)嗜好品 : 飲酒 - + 喫煙 - +
 (4)体格 : 身長()cm 体重()kg BMI()kg/m²
 (5)検査データ : HbA1c()%
 (6)合併症 : 網膜症 - + (単純・前増殖・増殖)
 併発症 腎症 - + (病期 1・2・3・4・5)
 神経障害 - + 空欄や○印の囲いが無いのは記入漏れと判断され、
 動脈硬化症 - + 再提出となります。わからなければ不明と記入して下さい。
 高血圧症 - +
 脂質異常症 - +

3. 療養指導開始時の医師の治療方針

(1)食事療法 : 指示エネルギー ()kcal/日
 減塩 - + ()g/日
 蛋白制限 - + ()g/日
 (2)運動療法 : - + (具体的内容:)
 (3)薬物療法 : 経口糖尿病薬 - +
 (薬品名:)
 : インスリン - +
 (薬品名:) 合計単位 単位/日

4. 本症例に行った療養指導

①この症例の療養指導上の問題点(作業療法士から見て) ③主治医やチームの他職種との連携
 ②その問題点への対応 ④あなたの指導による患者さんの変化

① 漠然とした問題点、例えば血糖コントロール不良、肥満、自己管理能力の低下等を挙げるのみでは不十分であり、作業療法士からみて指導すべき点を具体的に述べる必要があります。

例 1) 脳梗塞により右片麻痺となり入院中である。利き手の右手が不自由なためインスリン自己注射が困難である。

例 2) 箸がうまく使えないので、食事摂取がややむづかしい。

② ②は①に対するの対応を書きます。

例 1) 折り紙などによる右手の巧緻性の向上や握力を高めるためテニスボール握りなどのリハを行った。

例 2) 実際に箸を使って大豆を移す練習などを行った。

③ ③は他職種との連携について書きます。

例 1) 現在のペンは押すのにやや力があるので、医師に軽く押せるペンに変更してもらった。

例 2) 管理栄養士に副菜を箸で掴みやすい大きさにあらかじめ切ってもらった。

④ 指導による患者さんの変化を、具体的に記入します。

例 1) リハとペンの変更によりインスリン自己注射が支障なくできるようになった。

例 2) 何とか箸で食事が可能となり、退院後の調理にも意欲を示している。